DATA PROJECTOR
データプロジェクター

XJ-V1

活用ガイド

- 必ず「セットアップガイド」に掲載されている「安全上のご注意」および「使用上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 本書はお読みになった後も大切に保管してください。
- 本書および「セットアップガイド」の最新版は下記ウェブサイトに公開されております。
  http://world.casio.com/manual/projector/

CASIO®

- DLPは、米国テキサス・インスツルメンツ社の登録商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia InterfaceはHDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。
- XGAは、米国IBM Corp. の登録商標です。
- その他本書に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたらご連絡ください。
- 本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。
- 本書および本製品使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求につきましても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 故障、修理などに起因するデータの消失による、損害および逸失利益などにつきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 取扱説明書に使用されている表示画面は、取扱説明書用に特別に作成されたもので、一部、実際の製品と異なることがあります。

目次

知っておくと便利な本機の特長と機能 5

準備 6

設置する 6

設置場所に関するご注意 6

配線する 6

リモコンについて 7

リモコンに電池を入れるには 7

リモコンの電池を交換するには 7

各種操作 8

入力ソースの選択(INPUT) 8

入力ソースを切り替えるには 8

解像度について 8

出力映像の操作 9

手動で台形補正するには（KEYSTONE） 9

投映中の映像の一部を拡大するには（D-ZOOM） 9

入力ソースからの映像と音声を一時的に遮断するには（BLANK） 9

映像を静止させるには（FREEZE） 9

映像を自動調整するには（AUTO） 9

投映画面の縦横比（アスペクト比）を切り替えるには（ASPECT） 10

映像の明るさを調節するには（FUNC） 10

映像に適した色調（カラーモード）を選ぶには（FUNC） 11

音量を調整する(VOLUME) 11

音量を調整するには 11

消音（ミュート）するには 11

エコモード(ECO) 12

エコモードを選ぶには 12

プレゼンテーションタイマーを使う(TIMER) 13

タイマーを表示するには 13

タイマーファンクションメニューを表示するには 13

タイマーの各種設定を変更するには 13

計時を開始するには 14

計時を一時停止するには 14

一時停止中の計時を再開するには 14

タイマーをリセットするには 14

設定メニューを使う(MENU) 15
設定メニューの基本操作 15
設定メニュー項目一覧 15
パスワード機能の利用 18
パスワード機能のご利用にあたり 18
パスワードを変更するには 19
電源を入れた直後のパスワード保護設定を切り替えるには 20

クリーニングについて 21
本機外部のクリーニング 21
レンズのクリーニング 21
吸気口などのクリーニング 21

故障かな？と思ったら 22
インジケーター表示について 22
エラー発生時の各種表示について 22
本機のトラブルと対処について 24

補足情報 26
コンポーネントビデオ出力との接続 26
ファームウェア更新ついて 27
本機の SERVICE 端子とパソコンの USB 端子を接続するには 27
本機を天井から吊して設置する 27
投映距離と投映サイズについて 28
アスペクト比設定と投映画面について 29
表示可能な信号について 30
プロジェクターのRS-232C制御について 32
本機とコンピューターをシリアル接続するには 32

知っておくと便利な本機の特長と機能

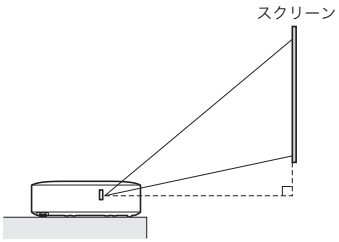
- **水銀フリーのハイブリッド光源**
  カシオ独自のレーザー&LEDハイブリッド光源により、2700ルーメンの高輝度を実現しました。水銀ランプを使用しない、環境にやさしいプロジェクターです。
- **いつでも待ち時間なしで投映可能**
  カシオのハイブリッド光源は、電源オン後ごく短い時間で最大輝度点灯に到達します（水銀ランプの場合は通常1分程度）。また水銀ランプではさらに時間のかかる、電源オフ直後の電源オンであっても、最大輝度点灯に要する時間は変わりません。
- **エコモード搭載**
  省電力と投映輝度のバランスを5段階の中から選択できます。
- **3種類の入力ソースに対応**
  アナログRGB、コンポーネントビデオ（Y・Cb・Cr/Y・Pb・Pr）、HDMIの各入力ソースに対応しています。
- **縦台形補正に対応**
  本機を投映面に対して上方向や下方向に傾けて投映したときに、投映画面が長方形でなく台形になってしまう「台形歪み」を、長方形になるように手動で補正することが可能です。
- **音声出力はAUDIO OUT端子から**
  HDMI端子やAUDIO IN端子から本機への入力音声は、本機のAUDIO OUT端子から出力されます。外部機器からの音声を本機経由で出力したいときは、AUDIO OUT端子にアンプスピーカー等を接続します。
- **天吊り投映やリア投映に対応**
  本機を上下さかさまに設置したり、リア投映用スクリーンの背面に設置しても、映像が正しい向きに投映されるように設定することができます。
- **ダイレクトパワーオン**
  本機をコンセントにつなぐだけで自動的に電源が入り、投映を開始するように設定することができます。
- **ファームウェア更新データの転送に対応**
  本機のファームウェア（フラッシュROMに搭載されたソフトウェア）を更新することが可能です。

準備

ここでは本機の設置や配線など、投映前の準備について説明します。

設置する

周囲に十分な余裕がある、しっかりした机や台の上などに設置してください。投映するスクリーンに対して次のように設置すると、最適な映像を得ることができます。



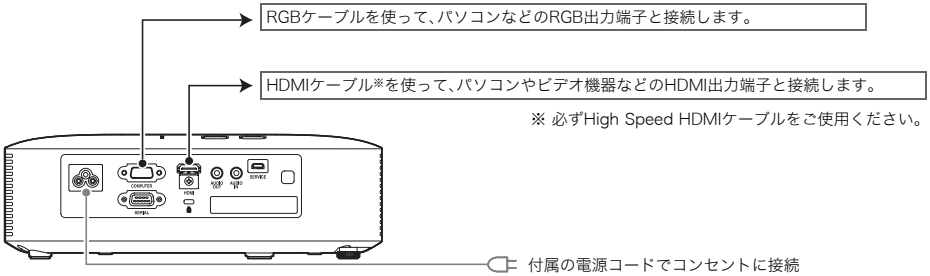
本機とスクリーンが直角になるように設置します。

設置場所に関するご注意

- いつでも電源プラグが抜けるよう、電源プラグに手が届く場所でお使いください。
- 本機の周囲30cm以内には物を置かないでください。吸気口や排気口付近には、特にご注意ください。
- 空調の風向きにより、レンズ付近に本機の排気熱が当たると投映画面に揺らぎが発生することがあります。その場合、空調の風向きや本機の設置位置を変更してご使用ください。

配線する

本機を電源および入力ソース機器と接続します。

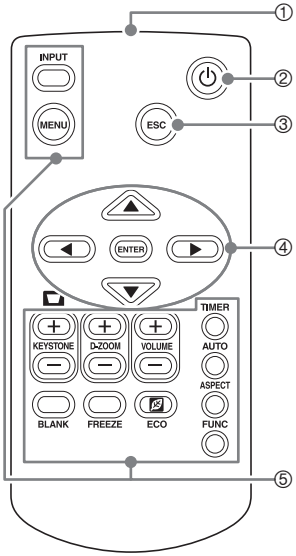


メモ

- コンポーネントビデオ接続については、「コンポーネントビデオ出力との接続」(26ページ)を参照してください。
- 本機をRS-232C制御する際の接続方法は、「プロジェクターのRS-232C制御について」(32ページ)を参照してください。
- 本機のファームウェア更新を行う際の接続方法は、「ファームウェア更新ついて」(27ページ)を参照してください。

リモコンについて

本機の操作は付属のリモコンで行います。リモコン発光部をプロジェクターのリモコン受光部に向けて、リモコンのキーを操作してください。プロジェクターのリモコン受光部から約5m以内の範囲で操作できます。



①リモコン発光部

②[⏻](電源)キー
電源のオン/オフを行うためのキーです。

③[ESC]キー
表示中のメニューを閉じたり、操作をキャンセルしたりするときに押します。

④カーソルキー(▲/▼/◀/▶)、[ENTER]キー
カーソルキーは、メニュー内で項目間を移動したり、設定値を変更したりするときに使います。[ENTER]キーは、メニュー上で何かを確定したり、機能を実行したりするときに押します。

⑤各キー特有の機能を使うときに押します。キーごとの機能については、「各種操作」(8〜20ページ)の該当項目を参照してください。例えば[MENU]キーについては、「設定メニューを使う(MENU)」(15ページ)に説明があります。

重要

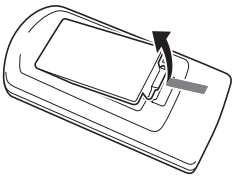
- 電池が消耗しますので、保管時はキーが押されないようにご注意ください。

リモコンに電池を入れるには

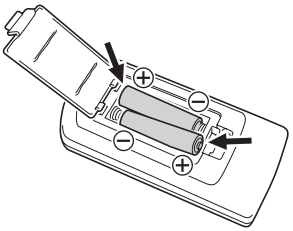
重要

- 必ずアルカリ電池をご使用ください。

1. リモコン背面の電池ブタを開く。



2. 新しい乾電池を＋/－の向きに注意しながら取り付ける。



3. 電池ブタを閉じる。

リモコンの電池を交換するには

上記同様に電池ブタを開き、古い電池と新しい電池を交換してください。

各種操作

ここでは、リモコンを使ってできる本機の各種操作を説明します。

入力ソースの選択(INPUT)

入力ソースを切り替えるには

1. [INPUT]キーを押す。

2. 表示される「入力」ダイアログで[INPUT] 、[▲]または[▼]キーを使って希望する入力ソース名を選び、[ENTER]キーを押す。

- [ENTER]キーを押さなくても、入力ソース名を選んで約2秒経過すると、自動的にその入力ソースに切り替わります。
- 選択された入力ソースの名前が数秒間、投映画面の右上に表示されます。
- 入力信号が検出できなかった場合、「入力信号がありません」というメッセージが表示されます。

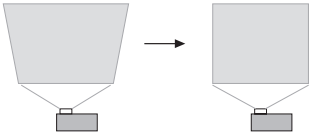
解像度について

本機のビデオ解像度はXGA(1024×768ピクセル)に固定されています。パソコンからの入力信号が、プロジェクターのビデオ解像度と一致していない場合、画像が粗くなったり、文字などが見えにくくなったり、格子状の干渉縞(モアレ)が現れたりすることがあります。このような場合は、パソコンの出力解像度を本機のビデオ解像度に合わせて設定してください。投映パソコンの設定方法については、パソコンの取扱説明書等をご覧ください。

出力映像の操作

手動で台形補正するには(KEYSTONE)

本機は、投映角度によって映像が台形に歪むのを防ぐ「台形補正」機能を備えています。[KEYSTONE ＋]または[KEYSTONE －]キーを押すことで、台形補正を手動で行うことができます。



投映中の映像の一部を拡大するには(D-ZOOM)

1. [D-ZOOM ＋]キーを押す。

- 投映画面の中心部が1段階、拡大表示されます。

2. 投映画面をさらに拡大するには[D-ZOOM ＋]キーを、拡大中の投映画面を縮小するには[D-ZOOM －]キーを押す。

- [D-ZOOM ＋]キーを押すたびに拡大率が上がり、[D-ZOOM －]キーを押すたびに拡大率が下がります。キーを押したままにすると、拡大率が連続的に変化します。

3. 拡大中の投映画面を上下左右にスクロールするには、[▲]、[▼]、[◀]、[▶]キーを押す。

4. 拡大表示をやめるには、[ESC]キーを押す。

入力ソースからの映像と音声を一時的に遮断するには(BLANK)

1. [BLANK]キーを押す。

- 入力ソースからの映像が遮断され、代わりに設定メニューの「ブランク時画面」(16ページ)で設定されている画面が投映されます。同時に、入力ソースからの音声も遮断されます。

2. 映像と音声を元に戻すには、[BLANK]キー(または[ESC]キー)を押す。

映像を静止させるには(FREEZE)

[FREEZE]キーを押すと、入力ソースからの映像がその時点で静止します。入力ソース映像に戻すには、[FREEZE]または[ESC]を押します。

映像を自動調整するには(AUTO)

[AUTO]キーを押します。

- この操作を行うと、入力信号に応じた周波数と位相の自動調整が実行され、投映映像のちらつきなどが低減されることがあります。
- この操作は、入力ソースとしてComputer(RGB)が選択されているときに有効です。

投映画面の縦横比(アスペクト比)を切り替えるには(ASPECT)

[ASPECT]キーを押すと、投映画面のアスペクト比の設定を切り替えることができます。
入力ソースに応じた設定は、下表のとおりです。

入力ソース	[ASPECT]キーを押したときの動作
RGB、HDMI (PC)	「標準」→「フル」→「16:9」→「16:10」の順に切り替わります。
コンポーネント、HDMI (DTV)	「標準」→「16:9」→「16:10」→「4:3」の順に切り替わります。

各設定の意味

標準: 入力信号のアスペクト比を維持した上で、本機で投映可能な最大サイズで投映します。
フル: 本機で投映可能な最大サイズに、入力信号を拡大/縮小して投映します。
16:9: 縦横比16:9(映画やハイビジョンなどの画面比率)で表示します。入力信号が16:9を4:3にスクイーズ(圧縮)したビデオ映像である場合に選択すると、縦横比の正しい映像が表示されます。
16:10: 縦横比16:10で表示します。縦横比16:10のスクリーンに投映画面を合わせたいときに、ご利用ください。
4:3: 入力信号のアスペクト比にかかわらず、4:3のアスペクト比に強制的にリサイズして投映します。

メモ

- アスペクト比設定に応じた投映画面の表示状態について詳しくは、「アスペクト比設定と投映画面について」(29ページ)を参照してください。
- アスペクト比の切り替えは、設定メニューの「画面設定→アスペクト比」(16ページ)でも可能です。

重要

- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機能により画面の拡大や縮小を行うと、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。

映像の明るさを調節するには(FUNC)

1. **[FUNC]キーを押すと表示されるメニューで「明るさ」を選び、[ENTER]キーを押す。**
2. **明るさの設定画面が表示されるので、[◀]または[▶]キーを押して明るさを調節する。**
3. **設定画面を消すには、[ESC]キーを押す。**

映像に適した色調(カラーモード)を選ぶには(FUNC)

1. [FUNC]キーを押すと表示されるメニューで「カラーモード」を選び、[ENTER]キーを押す。

- カラーモードの設定画面が表示されます。◉印付きの項目は、現在のカラーモードを表します。

2. [▼]または[▲]キーを押して希望する項目を選択し、[ENTER]キーを押す。

- 選択した項目に◉印が移動します。
- 各選択肢の意味については、「映像調整1→カラーモード」(15ページ)を参照してください。

3. 設定画面を消すには、[ESC]キーを押す。

重要

- 次の場合はカラーモードを選ぶことはできません。
  - エコモード(12ページ)で「オフ」が選択されている場合

音量を調整する(VOLUME)

[VOLUME +]と[VOLUME −]キーは、AUDIO OUT端子からの出力音量調整に使用します。

音量を調整するには

1. [VOLUME +]または[VOLUME −]キーを押す。

- 投映画面上に「音量」画面が表示されます。

2. [VOLUME +]キーを押すと音量が大きくなり、[VOLUME −]キーを押すと音量が小さくなる。

3. 調整が済んだら[ESC]キーを押す。

消音(ミュート)するには

1. [VOLUME +]または[VOLUME −]キーを押して「音量」画面を表示する。

2. [ENTER]キーを押す。

- 音声出力が一時的に消えます(ミュート状態)。

3. 音声出力を元に戻すには、[VOLUME +]または[VOLUME −]キーを押す。

エコモード(ECO)

省電力と音の静かさを優先するか、投映の輝度を優先するかを選ぶことができます。
オン：省電力・静音の効果と投映輝度のバランスを、手動で調節します。
オフ：投映輝度を最優先した設定です。

エコモードを選ぶには

1. **[ECO]キーを押す。**
- 投映画面上に「エコモード」画面が表示されます。

2. **[◀]または[▶]キーを使って希望する項目を選択する。**
- 「オン」を選んだ場合は手順3に、「オフ」を選んだ場合は手順4に進んでください。

3. **次の操作で「エコレベル」(省電力・静音の効果と投映輝度のバランス)を調節する。**
① [▼]キーを押して、「エコレベル」の行を選ぶ。
② [◀]または[▶]キーを使ってエコレベルを調節する。
の数が少ないほど輝度優先、多いほど省電力と静音を優先となります。

4. **設定画面を消すには、[ESC]キーを押す。**

メモ
- エコモードを「オフ」にしたときは、明るさと色合いのどちらをより重視するかを選ぶことができます。詳しくは「映像調整1→エコオフモード」(15ページ)を参照してください。

プレゼンテーションタイマーを使う(TIMER)

プレゼンテーションの残り時間を計るためのタイマーを、投映画面上に表示することができます。

タイマーを表示するには

投映画面にタイマーが表示されていないときに、[TIMER]キーを1回押します。
タイマー表示は約5秒後に自動的に消えます(「連続表示」の設定が「オフ」の場合)。

タイマーファンクションメニューを表示するには

投映画面にタイマーが表示されていないときは[TIMER]キーを2回、表示されているときは1回押します。

この画面を使って、計時の開始、一時停止、再開、リセット、および各種の設定を行うことができます。

タイマーの各種設定を変更するには

1. タイマーファンクションメニューを表示する。

2. [▼]または[▲]キーを使って「表示位置」、「連続表示」、「設定時間」を順次選択し、必要に応じて現在の設定を変更する。

これをするには:	この操作を行う:
タイマーの表示位置を変更する	「表示位置」を選択し、[◀]または[▶]キーを使って「右下」、「右上」、「左上」、「左下」のいずれかを指定します(初期設定:右下)。
タイマー表示を自動的に消すか、消さないかを指定する	「連続表示」を選択し、[◀]または[▶]キーを使って「オン」または「オフ」を指定します(初期設定:オフ)。 オン:投映画面上にいったんタイマーが表示されると、その他のダイアログが表示されたり、[ESC]キーを押したりしない限りは、タイマーは表示されたままになります。 オフ:投映画面にタイマーが表示されてから5秒経過すると、タイマーは自動的に消えます。
タイマーのカウントダウン時間を設定する	「設定時間」を選択し、[◀]または[▶]キーを使って希望するカウントダウン時間を指定します。 5分~60分の5分刻みで設定できます(初期設定:20分)。

3. 変更を保存してタイマーファンクションメニューを閉じるには[ESC]を押す。

- 変更後の設定ですぐに計時を開始するには、[ESC]キーを押す前に[▼]または[▲]キーを使って「タイマー開始」を選択し、[ENTER]キーを押します。

計時を開始するには

1. **タイマーファンクションメニューを表示する。**

2. **「タイマー開始」を選択し、[ENTER]キーを押す。**
   - タイマーファンクションメニューが消えて、タイマーによる計時(カウントダウン)が開始されます。
   - タイマーが00:00に達すると、その後60分間はカウントアップが行われます(−00:01〜−60:00)。カウントアップ中は時間が赤字で表示されます。

計時を一時停止するには

1. **タイマーファンクションメニューを表示する。**

2. **「タイマー一時停止」を選択し、[ENTER]キーを押す。**

一時停止中の計時を再開するには

1. **タイマーファンクションメニューを表示する。**

2. **「タイマー再開」を選択し、[ENTER]キーを押す。**

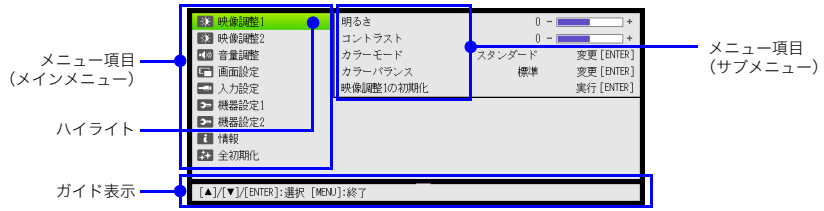
タイマーをリセットするには

1. **タイマーファンクションメニューを表示する。**

2. **「タイマーリセット」を選択し、[ENTER]キーを押す。**
   - 計時がリセットされ、「設定時間」で設定されているカウントダウン時間に戻ります。

設定メニューを使う(MENU)

[MENU]キーを押すと、投映画面に次のような設定メニューが表示されます。メニュー内の項目を使って投映画質(明るさやコントラストなど)を調整したり、本機の動作設定を変えたりすることができます。



ガイド表示部には、現在選択されているメニュー項目(ハイライトしている項目)に対して行うことができるキー操作が表示されます。

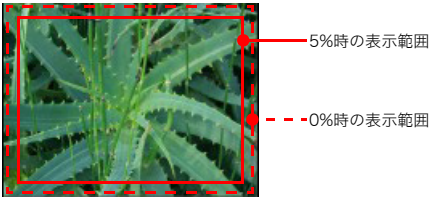
設定メニューの基本操作

これをするには:	この操作を行う:
設定メニューを表示する 設定メニューを閉じる	[MENU]キーを押す。[MENU]キーを押して設定メニューを閉じると、メニューを開いている間に実施した設定変更が保存されます。
メニュー項目を選ぶ	[▲]、[▼]キーを押して選びたいメニュー項目を含むメインメニューをハイライトさせ、[ENTER]キーを押す。続いて、[▲]、[▼]キーを押して希望するメニュー項目をハイライトさせる。
選んだメニュー項目の設定を変更する	● メニュー項目名の右側に選択肢や設定値が表示されている項目では、[◀]、[▶]キーを押す。 ● 「変更[ENTER]」や「実行[ENTER]」と表示されている項目では、[ENTER]キーを押すと表示されるダイアログに従って操作する。

設定メニュー項目一覧

- メニュー項目名の後に(RC)のような記載のあるものは、特定の入力ソースの選択時に限り利用可能な項目です。( )内のアルファベットは、そのメニュー項目が利用可能な入力ソースを表します。
  R:RGB入力、**C**:コンポーネント入力、**H**:HDMI(PC)入力、**D**:HDMI(DTV)入力
- ( )の記載がないメニュー項目は、どの入力ソースの選択時でも利用可能です。
- アスタリスク(*)が付いている選択肢は、初期設定を表します。

メニュー項目名	できること
映像調整1→明るさ	映像の明るさを調整します。
映像調整1→コントラスト	映像のコントラストの強弱を調整します。
映像調整1→カラーモード	映像のカラーモードを「スタンダード*1」、「グラフィックス」、「シアター*2」、「黒板」、「ナチュラル」の中から選べます。 *1 RGB、HDMI(PC)入力選択時の初期設定 *2 コンポーネント、HDMI(DTV)入力選択時の初期設定
映像調整1→カラーバランス	映像のカラーバランスを、プリセット3種(「暖色系」「標準*」「寒色系」)から選べます。赤、緑、青のカラー別調節も可能です。
映像調整1→エコオフモード	「機器設定1→エコモード」が「オフ」のときの映像画質を、「ブライト」(明るさ優先)または「ノーマル*」(明るさよりも色合い優先)のいずれかから選べます。
映像調整1→映像調整1の初期化	投映中の入力ソースに対する映像調整1メインメニュー内の全項目を初期化します。

メニュー項目名	できること
映像調整2→垂直位置(RC)	投映範囲に対する入力ソース映像の垂直位置、水平位置をそれぞれ調整します。
映像調整2→水平位置(RC)	
映像調整2→周波数(R)	入力ソースとしてRGB入力を選択している場合で、投映画面に縦帯が出る場合は、周波数が正しく設定されていません。このような場合に、本項目を手動で設定します。なお周波数の設定を行った結果、パソコンからの入力映像が表示できなくなった場合は、[AUTO]キーを押して映像の自動調整を行うと、表示できる場合があります。
映像調整2→位相(R)	本機とRGB入力信号の位相が不一致で映像にちらつきが出る場合、本項目を調節すると改善されることがあります。
映像調整2→オーバースキャン(CD)	入力ビデオ信号に対するオーバースキャン率を、0%～5%*の間で調節します。プロジェクターの投映画面に表示される入力ソース映像の範囲は、設定値が小さいほど下図のように広くなります。 
映像調整2→映像調整2の初期化(RCD)	投映中の入力ソースに対する映像調整2メインメニュー内の全項目を初期化します。
音量調整→音量	「音量を調整する(VOLUME)」(11ページ)を参照してください。
音量調整→音量調整の初期化	投映中の入力ソースに対する音量設定を初期化します。
画面設定→台形補正	投映画面の縦方向の台形歪みを補正します。
画面設定→アスペクト比(RCHD)	投映画面のアスペクト比の設定を切り替えます。詳しくは「投映画面の縦横比(アスペクト比)を切り替えるには(ASPECT)」(10ページ)を参照してください。
画面設定→投映方法	スクリーンの前面から投映するか、背面から投映するかを設定します。 フロント*:スクリーンの正面から投映する場合に選択します。 リア:スクリーンの背面から投映する場合に選択します。「フロント」選択時に対して、映像の左右を反転して投映が行われます。
画面設定→天吊投映	本機を天井から吊して設置するための設定項目です。 オン:天吊り投映の場合はこちらを選択します。本機の底面側が上になるように、上下左右反転して投映が行われます。 オフ*:机上に設置して投映する場合はこちらを選択します。本機の上面側が上になるように、投映が行われます。
画面設定→無信号時画面	本機への入力信号がないときの投映画面表示を、「ブルー*」(青画面)、「ブラック」(黒画面)、「ロゴ」(本機に組み込まれたロゴ画像)から選びます。
画面設定→ブランク時画面	[BLANK]キーを押したときの投映画面表示を、「ブルー」(青画面)、「ブラック*」(黒画面)、「ロゴ」(本機に組み込まれたロゴ画像)から選びます。
画面設定→画面設定の初期化	投映中の入力ソースに対する画面設定メインメニュー内の全項目を初期化します。
入力設定→COMPUTER端子(RC)	COMPUTER端子への入力信号の判別方法を選びます。 自動*:COMPUTER端子への入力信号を本機が自動判別します。 RGB:COMPUTER端子への入力信号をRGB信号とみなします。 コンポーネント:COMPUTER端子への入力信号をコンポーネントビデオ信号とみなします。
入力設定→RGBレベル調整(R)	入力されたRGB信号に対してレベル調整を実施する(オン*)か、しない(オフ)かを指定します。通常は「オン」にしておくことで映像が最適化されますが、入力信号によってはまれに映像が乱れたり最適化されない場合があります。この場合は、設定を「オフ」に切り替えてください。
入力設定→信号名表示	[INPUT]キーを使って入力ソースを切り替えたときに、投映画面に入力信号を表示する(オン*)か、表示しない(オフ)かを指定できます。
入力設定→入力設定の初期化	投映中の入力ソースに対する入力設定メインメニュー内の全項目を初期化します。

メニュー項目名	できること
機器設定1→自動調整(R)	RGB入力信号の種類(解像度/周波数)を判別して自動的に投映映像を調整する(オン*)か、しない(オフ)かを選択します。
機器設定1→エコモード	「エコモード(ECO)」(12ページ)を参照してください。
機器設定1→オートパワーオフ	プロジェクターに対するキー操作や入力信号がない状態が続いたときに、自動的に電源が切れる(オートパワーオフが働く)までの時間を指定します。自動的には電源が切れないように設定することもできます。 5分/10分*/15分/20分/30分: オートパワーオフが働くまでの時間を指定します。 オフ:オートパワーオフが働かないように設定します。
機器設定1→パスワード	「パスワード機能の利用」(18ページ)を参照してください。
機器設定1→ダイレクトパワーオン	この設定を「オン」にすると、本機の電源コードをコンセントにつなぐだけで、本機の電源が自動的に入ります(初期設定:オフ)。
機器設定1→言語	表示言語を下記から選べます。 英語/フランス語/ドイツ語/イタリア語/スペイン語/スウェーデン語/ポルトガル語/オランダ語/ノルウェー語/ポーランド語/フィンランド語/チェコ語/トルコ語/ロシア語/リトアニア語/ベトナム語/タイ語/マレー語/インドネシア語/アラビア語/中国語(簡体字)/中国語(繁体字)/韓国語/日本語
機器設定1→機器設定1の初期化	投映中の入力ソースに対する機器設定1メインメニュー内の全項目を初期化します。
機器設定2→高地モード	平地/高地での使用に合わせてファンの回転数を切り替えます。 オン: 空気が薄い高地(海抜1,500m～3,000m)でご使用になるときはこちらを選択してください。ファンの冷却効率が高まります。 オフ*: 平地(1,500m未満)での使用時は、こちらを選択します。 **重要** ● 海抜3,000mを超える場所では本機をご使用にならないでください。
機器設定2→タイマーファンクション	本項目を選択すると、タイマーファンクションメニューが表示されます。詳しくは「プレゼンテーションタイマーを使う(TIMER)」(13ページ)を参照してください。
機器設定2→機器設定2の初期化	投映中の入力ソースに対する機器設定2メインメニュー内の全項目を初期化します。
情報(RCHD)	本機に関する次の情報を表示します。 入力信号、信号名、解像度、水平周波数、垂直周波数、走査方式、ライト使用時間、Version(本機のROMバージョン)
全初期化→ユニット使用時間	現在の本機の使用累積時間が表示されます。この時間は初期化することはできません。
全初期化→全初期化	次の項目を除いた設定メニュー内の全項目の設定が初期化されます。 機器設定1→言語、機器設定1→パスワード、情報→ライト使用時間、情報→Version、全初期化→ユニット使用時間

パスワード機能の利用

本機は、本機の不正使用を防ぐためのパスワード機能を備えています。電源を入れたときにパスワードの入力を必要とするか、しないかの設定、およびパスワードの登録(変更)を行うことができます。これらの操作は、設定メニューの「機器設定1→パスワード」で行います。

パスワード機能のご利用にあたり

パスワード機能のご利用にあたっては、次のことにご注意ください。

- パスワード機能はプロジェクターの不正使用を防止する機能であり、盗難を防止する機能ではありません。あらかじめご了承ください。
- パスワード機能を使う時、初回は工場出荷時のパスワードを入力します。工場出荷時のパスワードは、なるべく早くご自分のパスワードに変更してください。
- パスワードはリモコンを操作して入力しますので、リモコンを紛失しないようにご注意ください。
- リモコンの電池がなくなるとパスワードの入力ができなくなります。リモコンの電池が消耗したら、早めにリモコンの電池を交換してください。

ご自分のパスワードを忘れてしまった場合には

次の2点を修理に関するお問い合わせ窓口にご持参の上、パスワードの解除をご依頼ください(所定の解除手数料を申し受けます)。

1. 身分証明書(社員証や運転免許証など、コピー可。)
2. プロジェクター本体

身分証明書・プロジェクター本体の2点がそろっていない場合、パスワードを解除することができません。あらかじめご了承ください。

なお、保証書も紛失しないように、大切に保管してください。

重要

- ご依頼によりパスワードを解除した場合、ライト使用時間を除き、各種の設定がすべて工場出荷時の状態に戻ります。

パスワード控えのおすすめ

設定したパスワードを忘れてしまうと、本機を使うことができなくなってしまいます。パスワードを忘れてしまった場合に備えて、メモなどにパスワードを控え大切に保管してください。

パスワードを変更するには

1. **[MENU]キーを押して設定メニューを表示する。**

2. **[▼]キーを押して「機器設定1」を選び、[ENTER]キーを押す。**

3. **[▼]キーを押して「パスワード」を選び、[ENTER]キーを押す。**

- パスワードの入力を促すダイアログが表示されます。

4. **現在設定されているパスワードを入力する。**

- 本機のパスワードは文字ではなく、リモコンキーの組み合わせ(特定のキーの入力順)です。
- 工場出荷時のパスワードを変更していない場合は、次のキーの入力を行います。

[▲] [▼] [◀] [▶] [▲] [▼] [◀] [▶]

5. **[ENTER]キーを押す。**

- パスワードの設定画面が表示されます。

6. **[▼]キーを押して「パスワード変更」を選び、[ENTER]キーを押す。**

- 新しいパスワードの入力を促すダイアログが表示されます。

7. **新しいパスワードを8桁(8キー操作)以内で入力する。**

- パスワード設定用には、次のキーを使うことができます。
  [INPUT]、[MENU]、[BLANK]、[FREEZE]、[ECO]、[VOLUME +]、[VOLUME −]、[D-ZOOM +]、[D-ZOOM −]、[KEYSTONE +]、[KEYSTONE −]、[▲]、[▼]、[◀]、[▶]、[TIMER]、[AUTO]、[ASPECT]、[FUNC]

8. **[ENTER]キーを押す。**

- 再びパスワードの入力を促すダイアログが表示されます。

9. **手順7で入力したパスワードを再度入力し、[ENTER]キーを押す。**

- 「新しいパスワードが登録されました」というメッセージが表示されたら、パスワードの変更は完了しました。[ESC]キーを押してください。
- もしここで再入力したパスワードが、手順7で入力したパスワードと一致しない場合は、「パスワードが正しくありません。」というメッセージが表示されます。[ESC]キーを押して、手順7からやり直してください。

電源を入れた直後のパスワード保護設定を切り替えるには

1. **「パスワードを変更するには」（19ページ）の手順1～5の操作を行い、パワーオンパスワードの設定画面を表示する。**

2. **「パワーオンパスワード」が選択されているのを確認し、[◀]または[▶]キーを押して「オン」または「オフ」のいずれかを選ぶ。**

- 設定を「オフ」から「オン」に切り替えると、「電源をオンするときに、パスワードを確認するようにしますか？」という確認ダイアログが表示されます。設定を「オン」に切り替えて、電源を入れた直後のパスワード確認を行うようにする場合は[ENTER]キーを、設定を「オン」に切り替えるのをやめる場合は[ESC]キーを押してください。

3. **設定メニューの操作を終了するには、[MENU]キーを押す。**

クリーニングについて

本機は下記の要領で定期的にクリーニングしてご使用ください。クリーニング前には必ず電源プラグをコンセントから抜き、本機を十分に放熱してください。

本機外部のクリーニング

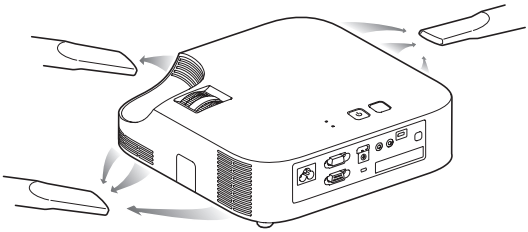
本機外部をクリーニングする際は、柔らかな布を薄い中性洗剤に浸し、固くしぼって拭いてください。ベンジン、アルコール、シンナーなどの化学薬品は絶対にご使用にならないでください。

レンズのクリーニング

市販のメガネ拭き用のクロスやクリーニングペーパーなどを使って拭いてください。なおクリーニング時は、レンズに必要以上の力を加えたり、レンズを傷つけたりしないようご注意ください。

吸気口などのクリーニング

吸気口にはゴミやほこりがたまりやすいので、下図のように電気掃除機を使い、時々ていねいに吸い取ってください(月に 1 回程度)。



重要

- 吸気口にほこりがたまったままで本機をご使用になると、本機内部の温度が過度に上昇し、故障の原因となります。
- ご使用の環境によっては、排気口にもほこりやゴミがたまることがあります。このような場合は、吸気口と同様にクリーニングしてください。

インジケーター表示について

本機のPOWER/STANDBYインジケーターとSTATUSインジケーターは、本機の現在の状態に応じて次の表示を行います。

POWER/STANDBYインジケーター

表示	本機の状態
赤点灯	本機が電源に接続されており、本機の電源が入っていない状態（スタンバイ状態）
緑点滅	本機の電源を入れた直後のウォームアップ中
緑点灯	本機の電源が入り、正常に動作している状態
赤点滅	本機の電源を切った直後の内部処理中

STATUSインジケーター

表示	本機の状態
緑点灯	「エコモード」の設定が「オン」の状態
赤点灯（または点滅）	本機に何らかのエラーが発生している状態
オレンジ点灯（または点滅）	本機に何らかのエラーが発生している状態

メモ

- 本機を電源に接続した直後は、POWER/STANDBY、STATUS両方のインジケーターがオレンジ点灯します。

エラー発生時の各種表示について

本機にエラーが発生すると、本機は警告メッセージやインジケーターによってエラーの内容を表示します。

- エラーが発生して、電源コードを取り外す際には、ファンが停止してから行ってください。ファンが回転中に電源コードを取り外し、再度電源コードを接続した場合エラーから復帰できないことがあります。
- 警告メッセージは[ESC]キーを押すと消えます。

インジケーター表示／警告メッセージ	本機の状態と対処
POWER　：緑点灯 STATUS　：－（「エコモード」が「オン」のときは緑点灯） メッセージ　：内部が高温になっています。 設置状況を確認してください。	内部が極端に高温になっています。次の操作を行ってください。 ① 本機の吸気口／排気口がふさがれていないか、本機の周囲のスペースが十分に確保されているか確認する。 ☞ 設置場所に関するご注意（6ページ） ② 本機の吸気口／排気口にほこりがたまっていたら電源を切って掃除する。 ☞ クリーニングについて（21ページ）

インジケーター表示／ 警告メッセージ	本機の状態と対処
POWER　：緑点灯→赤点灯 STATUS　：ー メッセージ：内部が高温になっています。 電源をオフにします。	内部が極端に高温になったため、電源が自動的に切れました。次の操作を行ってください。 ① 本機の吸気口／排気口がふさがれていないか、本機の周囲のスペースが十分に確保されているか確認する。 ☞ 設置場所に関するご注意（6ページ） ② 本機の吸気口／排気口にほこりがたまっていたら掃除する。 ☞ クリーニングについて（21ページ） 上記について問題が無い場合には、POWER/STANDBYインジケーターが赤点灯に変わったのを確認後、再度電源を入れてください。電源を入れ直してもエラーになる場合は、お買い上げの販売店または修理に関するお問い合わせ窓口にお問い合わせください。
POWER　：赤点灯 STATUS　：オレンジ点滅（約0.5秒周期） メッセージ：ファンに異常が発生しました。 電源をオフにします。	ファンに異常が発生したため、電源が自動的に切れました。POWER/STANDBYインジケーターが赤点灯に変わり、ファンが停止したのを確認してください。確認後、本機から電源コードを取り外し、インジケーターが消えてしばらくしてから電源コードを接続して、再度電源を入れてください。電源を入れ直してもエラーになる場合は、お買い上げの販売店または修理に関するお問い合わせ窓口にお問い合わせください。
POWER　：緑点灯 STATUS　：ー（「エコモード」が「オン」のときは緑点灯） メッセージ：システムに異常が発生しました。 音声機能が正常に働かない可能性があります。	システムに異常が発生し、一部の機能が正常に働かない可能性があります。電源をいったん切り、本機から電源コードを取り外し、インジケーターが消えてしばらくしてから電源コードを接続して、再度電源を入れてください。電源を入れ直してもエラーになる場合は、お買い上げの販売店または修理に関するお問い合わせ窓口にお問い合わせください。
POWER　：赤点灯 STATUS　：赤点灯 メッセージ：ー	外部からのノイズなどの要因による誤動作のために電源が自動的に切れたことが考えられます。POWER/STANDBYインジケーターが赤点灯に変わったのを確認してください。確認後、本機から電源コードを取り外し、インジケーターが消えてしばらくしてから電源コードを接続して、再度電源を入れてください。電源を入れ直してもエラーになる場合は、お買い上げの販売店または修理に関するお問い合わせ窓口にお問い合わせください。
POWER　：赤点灯 STATUS　：赤点滅（約0.5秒周期） メッセージ：ー	光源ユニットが消灯または点灯しなかったため、電源が自動的に切れました。POWER/STANDBYインジケーターが赤点灯に変わったのを確認して一度電源コードを取り外し、しばらくしてから接続し直して、再度電源を入れてください。電源を入れ直してもエラーになる場合は、お買い上げの販売店または修理に関するお問い合わせ窓口にお問い合わせください。
POWER　：赤点灯 STATUS　：赤点滅（約2秒または1秒周期） メッセージ：ー	本機内部のメモリエラーが発生したため、電源が自動的に切れました。POWER/STANDBYインジケーターが赤点灯に変わったのを確認してください。確認後、本機から電源コードを取り外し、インジケーターが消えてしばらくしてから電源コードを接続して、再度電源を入れてください。電源を入れ直してもエラーになる場合は、お買い上げの販売店または修理に関するお問い合わせ窓口にお問い合わせください。

本機のトラブルと対処について

本機の使用中に何らかのトラブルが発生した場合は、故障とお思いになる前に、以下をご確認ください。

現象	原因と対処
電源が入らない	● POWER/STANDBYインジケーターが点灯していない場合は、電源コードが正しく接続されていません。電源コードを正しく接続してください。 ● POWER/STANDBYインジケーターが赤色で点灯し、STATUSインジケーターが赤色またはオレンジ色で点灯（点滅）している場合は、何らかのエラーが発生しています（22ページ「エラー発生時の各種表示について」参照）。
映像がまったく投映されない、または正常に投映されない	● 本機と接続しているパソコンやビデオ機器の電源が入っていなかったり、ビデオ信号が出ていないことが考えられます。接続しているパソコンやビデオ機器の電源が入っており、正常に動作していることをご確認ください。 ● 正しい入力ソースが選択されていないことが考えられます。本機に接続している機器に合わせて入力ソースを正しく選択してください。 ● ビデオ機器のコンポーネント出力端子と本機のCOMPUTER端子を接続した場合、ビデオ機器によっては、映像が正しく投映されない場合があります。
色や表示が極端にずれる	設定メニューの「入力設定→COMPUTER端子」の設定として、誤って「コンポーネント」または「RGB」が選択されていることが考えられます。本機のCOMPUTER端子とパソコンのRGB出力端子を接続しているときに「コンポーネント」が選択されているか、本機のCOMPUTER端子とビデオ機器のコンポーネントビデオ出力端子を接続しているときに「RGB」が選択されている場合は、映像が正しく表示されません。設定メニューの「入力設定→COMPUTER端子」を「自動」に切り替えてください（16ページ参照）。
メッセージやメニューが日本語で表示されない（言語が変わってしまった）	次の操作で、言語を「日本語」に設定してください（17ページ参照）。 1. [MENU]キーを押して設定メニューを表示する。 2. 入力信号がHDMI（PC）の場合は[▼]を4回押してから、[ENTER]キーを押す。入力信号がRGB、コンポーネント、またはHDMI（DTV）の場合は[▼]を5回押してから、[ENTER]キーを押す。 3. [▲]を2回押してから[ENTER]キーを押して、言語選択メニューを表示する。 4. [▼]/[▲]を使って「日本語」を反転させ、[ENTER]キーを押す。 5. [MENU]キーを押して設定メニューを消す。
AUDIO OUT端子から音声が出力されない	● 本機の音量設定が小さすぎるか、消音（ミュート）状態になっていることが考えられます。リモコンの[VOLUME +]/[VOLUME −]キーを使って音量を調節してください（11ページ参照）。 ● 本機と接続した機器の音量が小さすぎるか、音が出ていないことが考えられます。接続した機器の音量を調節してください。 ● 本機のAUDIO IN端子に、機器の音声出力が正しく接続されていないことが考えられます。接続状態をご確認ください（6ページ「配線する」を参照）。
色がおかしい	入力信号と本機の設定が合わないことが考えられます。次の操作をお試しください。 －[FUNC]キーを押すと表示されるメニューで「明るさ」を選び、明るさを調節する。 －[FUNC]キーを押すと表示されるメニューで「カラーモード」を選び、カラーモードを変更する。 －設定メニューの「映像調整1→カラーバランス」を使って、映像のカラーバランスを調整する。
文字がぼやける	● 焦点が合っていないことが考えられます。焦点を合わせてください。 ● 周波数や位相の設定が入力信号と合わないことが考えられます（入力ソースがRGB信号の場合のみ）。[AUTO]キーを押して、自動調整を行ってください。 ● 設定メニューを使って「映像調整2→周波数」と「映像調整2→位相」を調整してください（入力ソースがRGB信号の場合のみ）（16ページ参照）。
「パスワードを入力してください」というメッセージから先に進めない	設定メニューの「機器設定1→パスワード」が「オン」に設定されています。正しいパスワードを入力し、[ENTER]キーを押してください（18ページ参照）。

現象	原因と対処
リモコンで操作できない	● リモコンの電池が消耗していることが考えられます。電池を交換してください。 ● リモコンの操作可能範囲外で操作していることが考えられます。プロジェクターから約5m以内の範囲で操作してください。
POWER/STANDBYインジケーターが赤色で点灯し、STATUSインジケーターが赤色またはオレンジ色で点灯(点滅)している	何らかのエラーが発生しています(22ページ「エラー発生時の各種表示について」参照)。
光源ユニットが点灯しなくなった	光源ユニットの寿命または故障と考えられます。お買い上げの販売店または修理に関するお問い合わせ窓口に交換をご依頼ください。
突然電源がオフになり、再起動した	プロジェクターがセルフチェックを行った結果として、まれに自動的に再起動することがあります。故障ではありませんので、そのままお使いください。 ただし、再起動が何度も連続して発生する場合は故障と考えられますので、お買い上げの販売店または修理に関するお問い合わせ窓口にお問い合わせください。

重要

- 以下の操作により正常に戻る場合がありますのでお試しください。

  1. 電源コードを取り外し、10分以上放置する。
  2. 再度電源コードを接続し、電源を入れる。

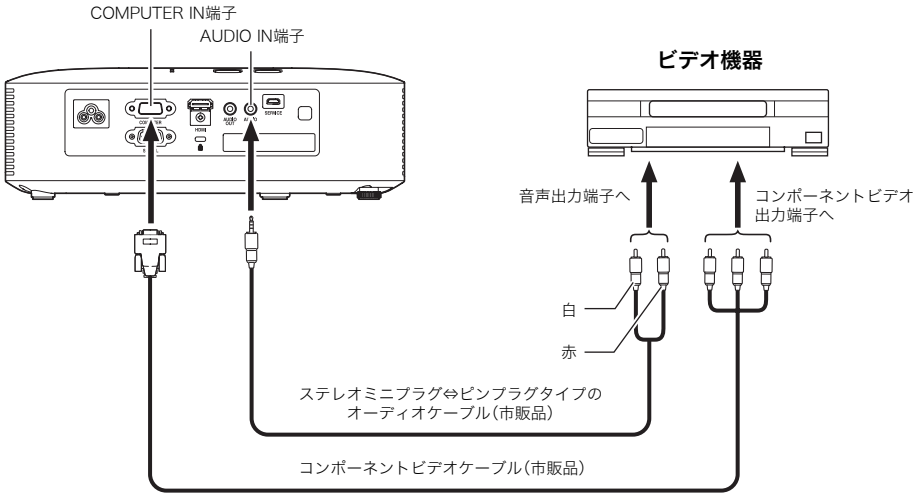
- この操作を行っても、動作が正常に戻らないときは、お買い上げの販売店または修理に関するお問い合わせ窓口にお問い合わせください。

コンポーネントビデオ出力との接続

下記の要領で、本機とビデオ機器をコンポーネントビデオ接続することが可能です。

- コンポーネントビデオ出力端子は、「Y·Cb·Cr」または「Y·Pb·Pr」の3つで1セットとなっています。コンポーネントビデオケーブルの3つのプラグの色と端子側の色が合うように接続してください（緑-Y、青-Cb/Pb、赤-Cr/Pr）。
- 接続が可能なのは、アナログのコンポーネントビデオ出力端子です。デジタル出力端子には対応しておりません。

本機

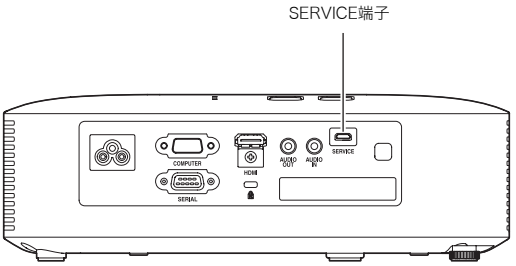


ファームウェア更新ついて

本機のSERVICE端子(ROM更新用USB端子)とパソコンのUSB端子を接続することで、本機のファームウェア(フラッシュROMに搭載されたソフトウェア)を更新することが可能です。

本機のSERVICE端子とパソコンのUSB端子を接続するには

本機のSERVICE端子とパソコンのUSB端子を、市販のUSBケーブルで接続します。



接続には、本機のSERVICE端子と接続する側がマイクロUSBプラグ、パソコンと接続する側はパソコンのUSB端子に合った形状のプラグになっているUSBケーブルをご使用ください。

メモ

- ファームウェア更新の操作方法について詳しくは、弊社ウェブサイトで公開されている「プロジェクターファームウェア更新ガイド」を参照してください。

本機を天井から吊して設置する

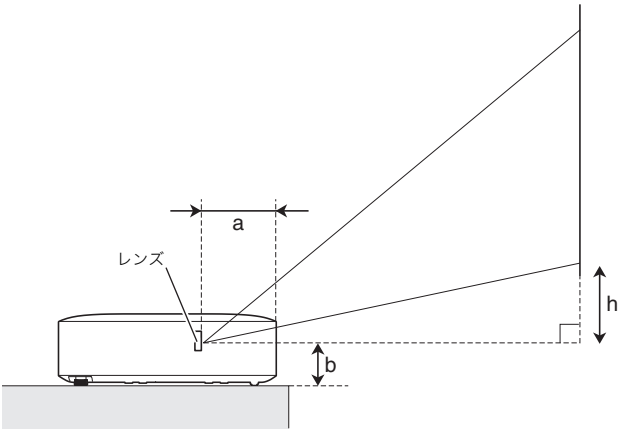
本機は天井から吊して設置することが可能です。天井から吊して設置する場合は、本機を天地逆さまにして設置します。
詳細は、販売店にお問い合わせください。

重要

- 本機を、火災検知器・報知器など消防設備のある天井へ取り付ける場合、本機を消防設備からできるだけ(最低1m)離してください。本機と消防設備が近いと、本機の排気により消防設備が誤動作する恐れがあります。また、蛍光灯や強い光源の近くに設置しないでください。リモコンで操作できなかったり、利用可能範囲がせまくなります。設置予定位置でのリモコン操作の可否は、必ず設置前にご確認ください。
- 本機を天井から吊して設置した場合、映像が上下左右逆になりますので、設定メニューを使った設定の変更が必要になります。詳しくは、「画面設定→天吊投映」(16ページ)を参照してください。

投映距離と投映サイズについて

以下の投映距離の数値は、設置の際の目安です。



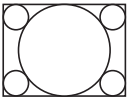
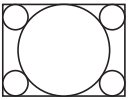
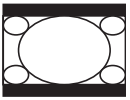
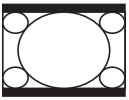
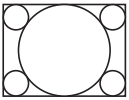
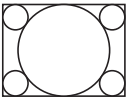
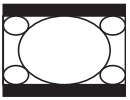
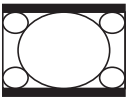
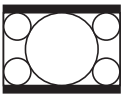
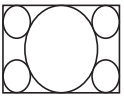
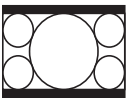
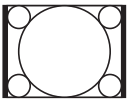
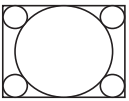
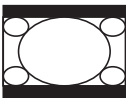
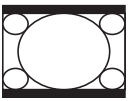
投映サイズ		投映距離(約)		h (cm)
型	対角線サイズ(cm)	最短距離(m)	最長距離(m)	
30	76	0.83	0.93	10
40	102	1.15	1.28	13
60	152	1.79	1.99	20
77	196	2.33	2.59	26
80	203	2.43	2.70	27
100	254	3.07	3.41	34
150	381	4.67	5.18	50
200	508	6.27	6.95	67
300	762	9.47	10.49	101

- 投映距離は、プロジェクターのレンズ表面からスクリーンまでのおよその距離です。レンズの表面からプロジェクターのケース前端までの距離は、約94mm です(イラスト中のa)。
- イラストおよび表中の“h”は、プロジェクターのレンズ中心から投映画面下端までの長さです。プロジェクターのレンズ中心は、プロジェクターの下端から約58mm です(イラスト中のb)。

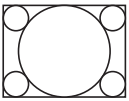
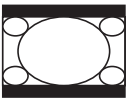
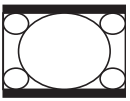
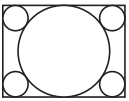
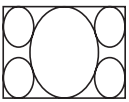
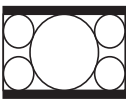
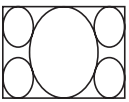
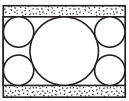
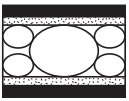
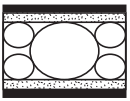
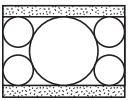
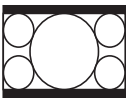
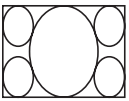
アスペクト比設定と投映画面について

本機への入力信号と本機のアスペクト比設定に応じた投映画面は、次のようになります。

入力ソース：RGBまたはHDMI（PC）

入力信号例	標準	フル	16:9	16:10
SVGA（800×600）				
XGA（1024×768）				
WXGA（1280×800）				
SXGA（1280×1024）				

入力ソース：コンポーネント、またはHDMI（DTV）

入力信号例	標準	16:9	16:10	4:3
4:3アスペクト映像				
スクイーズ映像				
Letter Box映像				
16:9アスペクト映像				

表示可能な信号について

重要

●以下の表に記載されていても、機種によっては、正しく表示されない場合があります。

RGB信号

	信号名	解像度	水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)
VESA	640×480/60	640×480	31.5	60
	640×480/72	640×480	37.9	73
	640×480/75	640×480	37.5	75
	640×480/85	640×480	43.3	85
	800×600/56	800×600	35.2	56
	800×600/60	800×600	37.9	60
	800×600/72	800×600	48.1	72
	800×600/75	800×600	46.9	75
	800×600/85	800×600	53.7	85
	1024×768/60	1024×768	48.4	60
	1024×768/70	1024×768	56.5	70
	1024×768/75	1024×768	60.0	75
	1024×768/85	1024×768	68.7	85
	1152×864/75	1152×864	67.5	75
	1280×768/60	1280×768	47.8	60
	1280×800/60	1280×800	49.7	60
	1280×960/60	1280×960	60.0	60
	1280×1024/60	1280×1024	64.0	60
	1280×1024/75	1280×1024	80.0	75
	1280×1024/85	1280×1024	91.1	85
	1366×768/60	1366×768	47.7	60
	1400×1050/60	1400×1050	65.3	60
	1440×900/60	1440×900	55.9	60
	1600×1200/60	1600×1200	75.0	60
	1680×1050/60	1680×1050	65.3	60

コンポーネント信号

	信号名	水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)
HDTV	1080p/50	56.3	50
	1080p/60	67.5	60
	720p/50	37.5	50
	720p/60	45.0	60
	1080i/50	28.1	50
	1080i/60	33.7	60
SDTV	576p/50	31.3	50
	576i/50	15.6	50
	480p/60	31.5	60
	480i/60	15.7	60

HDMI信号

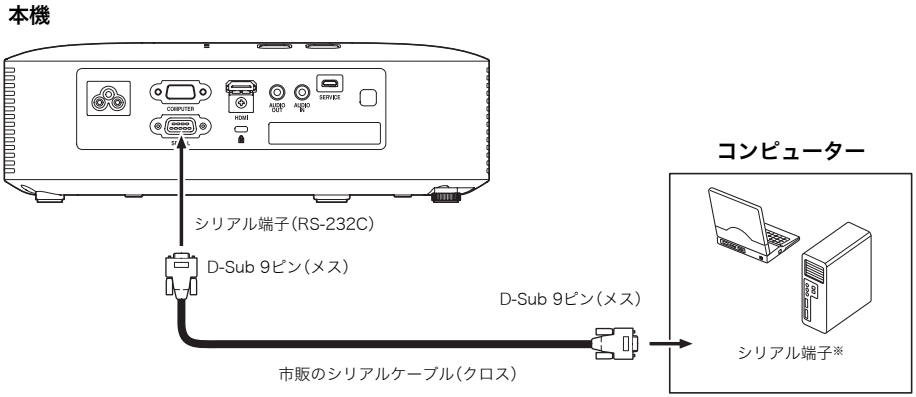
信号名	水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)
640×480/60	31.5	60
800×600/60	37.9	60
1024×768/60	48.4	60
1280×768/60	47.8	60
1280×800/60	49.7	60
1280×960/60	60	60
1280×1024/60	64	60
1400×1050/60	65.3	60
SDTV(480p)	31.5	60
SDTV(576p)	31.25	50
HDTV(720p)(50)	37.5	50
HDTV(720p)(60)	45	60
HDTV(1080i)(50)	28.13	50
HDTV(1080i)(60)	33.75	60
HDTV(1080p)(50)	56.25	50
HDTV(1080p)(60)	67.5	60

プロジェクターのRS-232C制御について

本機とコンピューターをシリアル接続すると、コンピューターから本機をRS-232Cコマンドで制御することが可能です。

本機とコンピューターをシリアル接続するには

本機とコンピューターを下図のように接続します。



制御コマンドを使う

コンピューターから本機を制御する際のコマンドについて説明します。

コマンドの送信フォーマット

<table>
<tr><td rowspan="6">通信プロトコル</td><td colspan="2">コンピューターのシリアル端子を次のように設定します。</td></tr>
<tr><td>通信スピード</td><td>19200bps</td></tr>
<tr><td>データビット</td><td>8bit</td></tr>
<tr><td>パリティ</td><td>なし</td></tr>
<tr><td>ストップビット</td><td>1bit</td></tr>
<tr><td>フロー制御</td><td>なし</td></tr>
<tr><td rowspan="4">読み出しコマンド</td><td colspan="2">データプロジェクターの現在の設定情報を読み出したいときに送信します。</td></tr>
<tr><td>送信フォーマット</td><td>(<コマンド名>?)</td></tr>
<tr><td>受信フォーマット</td><td>(<当該コマンドの設定可能範囲>,<現在の設定値>)</td></tr>
<tr><td>コマンド送受信例</td><td>コンピューターから[(VOL?)]をプロジェクターに送信
↓
[(0-30,15)]がプロジェクターからコンピューターに返される</td></tr>
<tr><td rowspan="3">書き込みコマンド</td><td colspan="2">データプロジェクターの制御(電源のオン／オフなどの制御)を実行したり、設定を書き込んだりしたいときに送信します。</td></tr>
<tr><td>送信フォーマット</td><td>(<コマンド名><設定値>)</td></tr>
<tr><td>コマンド送信例</td><td>コンピューターから[(VOL0)]をプロジェクターに送信
↓
プロジェクターの音量設定が0になる</td></tr>
</table>

- コマンド名と設定値について詳しくは、「コマンド一覧」をご覧ください。
- コマンドはすべてASCII文字および10進数(整数)で記述してください。
- 本機が認識できないコマンドを送信した場合は、本機から“？”が返されます。また、「設定値の範囲」以外を送ったときは無視されます。
- コマンドの送信は、先に送ったコマンドの処理を本機が完了するまで待つ必要があります。また、本体キーやリモコンキーを使って本機を操作した場合も同様に、その操作による処理を本機が完了するのを待って、コマンドを送信することが必要です。

コマンド一覧

- 本機の電源が入っていない時には、次の各機能以外の読み出し／書き込みはできません。本機の電源が入っていないときは、次の各機能以外のコマンド送信は行わないでください。
  - 電源オン／オフ状態、読み出し
  - 電源オン、書き込み
  - ライト使用時間取得、読み出し
- ブランク表示をオンにする操作、およびアスペクト比を変更する操作をコマンドによって実行するには、有効な信号が本機に入力されている必要があります。

R:読み出し可能、W:書き込み可能

機能	コマンド名	RW	設定値の範囲
電源オン／オフ:	PWR	RW	0:オフ, 1:オン
入力切換: 0: 入力ソースをCOMPUTER端子に切り替え、COMPUTER端子の設定をRGBにします。 **1:** 入力ソースをCOMPUTER端子に切り替え、COMPUTER端子の設定をコンポーネントにします。 **6:** 入力ソースをCOMPUTER端子に切り替え、COMPUTER端子の設定をAutoにします。 **7:** 入力ソースをHDMIに切り替えます。	SRC	RW	0:RGB, 1:Component, 6:Auto(RGB/Component), 7:HDMI
ブランク表示: ブランク表示のオン／オフを切り替えます。	BLK	RW	0:オフ, 1:オン
音量: 値を指定して音量を調節します。この設定は、現在本機で投映中の入力ソース信号に対して行われます。	VOL	RW	0〜30
カラーモード: カラーモードを選択します。	PST	RW	1:グラフィックス, 2:シアター, 3:スタンダード, 4:黒板, 5:ナチュラル
アスペクト比: アスペクト比を設定します	ARZ	RW	0: 標準, 1: 16:9, 4: フル, 7: 16:10（RGB、HDMI(PC)入力選択時） 1: 16:9, 2: 標準, 6: 4:3, 7: 16:10（コンポーネント、HDMI(DTV)入力選択時）
ライト使用時間取得: ライト使用時間を取得します。	LMP	R	0〜　　単位:時間
エコモード: エコモードを設定します。	PMD	RW	0:オフ(ブライト), 1:オフ(ノーマル), 3:オン(手動1), 4:オン(手動2), 5:オン(手動3), 6:オン(手動4), 7:オン(手動5)
フリーズ: フリーズのオン/オフを切り替えます。	FRZ	RW	0:オフ, 1:オン
台形補正: このコマンドの0はプロジェクターの設定メニューの「台形補正」では−60に相当し、同様に60は0に、120は+60に相当します。例えばこのコマンドで65を送信すると、プロジェクターの設定メニューの「台形補正」が+5になります。	KST	RW	0〜120
台形補正+: 台形補正の現在の設定を1刻みで上げます。	KSP	W	0〜120
台形補正−: 台形補正の現在の設定を1刻みで下げます。	KSM	W	0〜120

機能	コマンド名	RW	設定値の範囲
キー: キーを押す操作を実行します。	KEY	W	1:▲, 2:▼, 3:◀, 4:▶, 5:ENTER, 6:ESC, 10:FUNC, 11:MENU, 12:POWER, 13:AUTO, 14:INPUT, 15:TIMER, 16:ASPECT, 17:BLANK, 18:FREEZE, 19:ECO, 20:KEYSTONE +, 21:KEYSTONE −, 22:D-ZOOM +, 23:D-ZOOM −, 24:VOLUME +, 25:VOLUME −
設置設定: プロジェクターをスクリーンに対してどのように設置するかに応じた設定を行います。 **0:** スクリーン手前から投映※1 **1:** スクリーン後ろから天吊り投映※2 **2:** スクリーン後ろから投映※1 **3:** スクリーン手前から天吊り投映※2	POS	RW	0〜3
APO: オートパワーオフ設定をオフするか、オートパワーオフまでの時間を切り替えます。	APO	RW	0:オフ, 1:5分, 2:10分, 3:15分, 4:20分, 5:30分
エラー:本機のエラー状態を読み出します。	STS	R	0:通常状態, 1:ファンエラー, 2:温度エラー, 7:光源エラー, 16:その他のエラー
音量+:音量の現在の設定を1刻みで上げます。	VLP	W	0〜30
音量−:音量の現在の設定を1刻みで下げます。	VLM	W	0〜30
ミュート:ミュートのオン/オフを切り替えます。	MUT	RW	0:オフ, 1:オン

※1 プロジェクターの天面を上向きに設置
※2 プロジェクターの天面を下向きに設置

CASIO

カシオ計算機株式会社
〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2

MA1504-B

© 2015 CASIO COMPUTER CO., LTD.